

## 図書館利用案内を考える

黛 崇仁

### I. はじめに

「図書館利用案内」(以下、利用案内)は図書館におけるパンフレット類の代表格であり、どこの図書館においても制作<sup>1)</sup>、配布されているものである。

日本医学図書館協会の第77次加盟館統計では、93大学図書館のうち出版物として利用案内を掲載している図書館は38館あった。1館あたりの制作経費は約19万円、単価は約121円と、多くの図書館において費用をかけて注力している業務であることがわかる。

東京歯科大学図書館(以下、当館)においても毎年制作していたが、A4判の冊子体で携帯性に乏しく、その内容も図書館についてすべてを羅列したに過ぎず、利用者本位に制作したとは言い難いものであった。

2007年度の利用案内を制作するにあたり、その内容について利用者の観点から検討を行った。本稿では当館の事例をもとに、利用案内の制作におけるポイントを紹介する。当館の事例が、利用案内を見つめ直すきっかけになれば幸いである。

### II. 一般的な利用案内の特徴

一般的に言って、利用案内の内容は、館内案内図・開館日時・館長挨拶・サービス案内・分類表・類縁機関案内などとなっているものがほとんど<sup>2)</sup>である。しかし、これらの利用案内には、次のような悪弊<sup>3)</sup>に陥っているものも少

なくない。

- ・ ツメコミすぎ
- ・ 自己満足のデザイン
- ・ よくばりすぎ
- ・ 目的を考えない
- ・ 固定概念にしばられる

結果、その図書館がどんな図書館で、何を考えてどんなことをしているのかが見えなくなってしまふ。そして、そのような利用案内は、利用者が手にとっても利用されないものとなってしまう。

このように、利用者にとって便利なのか、そもそも利用者に活用されているのか、疑わしい利用案内は多い。

原因としては、既に利用案内が存在するあまり、その内容についてあらためて検討する機会がないからだと思われる。そして、最も問題なのは予算・内容・形態・部数・判型・紙質・納期・制作方法といった、印刷物を制作する過程で重要な「企画」がしっかりとなされていない点にある。

### III. 一般的な携帯型印刷メディアの特徴

利用案内の企画を立てる前に、商業施設のフロアガイドや公共サービス機関の広報媒体など、50種類の携帯型印刷メディアを収集(表1)し調査を行った。

種類もさまざまで系統化はできないが、以下のような共通した特徴が見られた。

- ・ シンプルなデザイン
- ・ 適切な情報量
- ・ 提供するサービスごとに制作

まゆずみ たかひと：東京歯科大学 図書館  
mayuzumi@tdc.ac.jp

これにより、利用者に必要とする情報やサービスのセールスポイントが明確に伝わるのである。そして、これらの特徴は、既存の利用案内にはほとんど見られないものである。

このように、配布対象や目的を明確にして、見た目に分かりやすく、図書館の魅力を訴える利用案内を制作しなければ意味がない。

	種類	計
美術館・博物館等	利用ガイド・フロアガイド	6
	展示カレンダー	9
公共サービス機関 (鉄道会社等)	サービスガイド	8
	イベントガイド	1
商業施設 (デパート等)	フロアガイド	6
	レストランガイド	4
	ショップガイド	2
	パーキングガイド	3
	サービスガイド	2
その他	商品紹介パンフレット	9

表1. 収集した携帯型印刷メディア

#### Ⅳ. 状況設定

利用案内の内容を検討するために、対象者などの状況設定を行った。

##### 1. 主な対象者

- ・ 学内者 ( 新入生・新入教職員 )
- ・ 学外利用者 ( 同窓生・医療関係従事者・他館紹介者 )
- ・ 見学者

利用案内には、対象者に必要な情報およびアピールすべき情報を簡潔に記載する。また、利用案内を手にする人の多くは、その図書館が初めての人である。よって、初めての人にもわかりやすく、図書館の魅力を理解してもらえるようになっていることが重要である。

##### 2. 入手場所

- ・ 図書館 ( もしくはオリエンテーションなど )  
で直接入手
- ・ 間接的に入手

利用案内を手にするすべての人が来館者と

は限らない。来館したことがない人にも図書館を理解してもらえるよう、図書館の概要や特徴を記載する。

##### 3. 利用案内を必要とする場所

- ・ 図書館内よりも図書館外で必要とする場合が多い

図書館内で必要な情報と図書館外で必要な情報は異なるが、図書館内で必要な情報であれば館内掲示などで利用者に情報提供を行うことは可能である。よって、利用案内には主に館外で必要とする情報を記載する。

#### Ⅴ. 内容

一般的な携帯型印刷メディアの特徴を参考に、状況設定を踏まえた上で、以下の内容で制作することとした。

##### 1. 対象者が共通して必要な項目を設定する

###### (1) どんな図書館か？

- ・ 図書館概要

###### (2) 図書館を利用するには？

- ・ 閲覧
- ・ 開館時間
- ・ 交通アクセス
- ・ 入館方法
- ・ 学外者の利用について ( 一般向け・同窓生向け )
- ・ 図書館Webサイト紹介

###### (3) 図書館の基本的なサービスは？

- ・ 貸出
- ・ 返却
- ・ 延長
- ・ 予約
- ・ 文献取り寄せ

###### (4) 図書館では何が利用できるのか？

- ・ 大判プリンタ
- ・ コピー機
- ・ ネットワークプリンタ
- ・ 研究用個室
- ・ パソコン
- ・ ビデオ資料

図書館を利用する上での基本となる利用案内を目指し、対象者が共通して必要な項目とした。そして、より高度な内容または初歩的な内容（データベース利用マニュアルなど）、図書館内のみで必要とする情報（フロアガイドなど）、特定の利用者のみに必要な情報（英語版利用案内など）は、内容を広げ高度化するために利用案内には含めず、シリーズ展開にすることとした。

## 2. ネガティブな要素は排除する

注意事項は図書館として強くアピールしたい項目ではあるが、図書館を利用する上で必ずしも利用者の必要とする情報ではない（優先順位は低い）。美術館などの利用案内においてもほとんど見られない項目であり、注意事項については別の広報手段を用いてアピールすべきだろう。図書館の方針にもよるが、限られたスペースは利用者にとってより必要な情報に割られるべきである。

## 3. 情報量を適切にする

利用者が消化不良を起こさないよう、また携帯型印刷メディアとしての特性を生かせるよう、A4版三つ折りの判型および形態を採用することとし、その中に納まる情報量とした。そのため、掲載する文章は何度も推敲し、無駄な余白は作らないようレイアウトを考慮した。

## VI. デザイン

利用案内は図書館で制作する場合が多く、一般の携帯型印刷メディアと比較した場合、デザインの完成度が高いといえるものはそう多くない。

最終的な完成度を高めるにはデザインも含めて外注を行う方が望ましいが、図書館で制作するにも外注を行うにも、デザインに関しては以下にあげるような点に注意する必要があるだろう。また、館内サイン、図書館Webサイト、ポスターや各種配布物など印刷媒体とのトータルなデザインにも考慮する必要がある。

なお、当館の利用案内は外注を行わず、図

書館で制作することとした。

## 1. 色

色はビジュアル・コミュニケーションを決定づけるマテリアルのひとつである。東京歯科大学ではスクールカラーなどのシンボルカラーが設定されていないため、色の特性<sup>9)</sup>を踏まえた上で、図書館内や図書館Webサイトでの配色で多く使用されている緑をメインの色として使用した。また、全体で使用する色のトーンや組み合わせを考慮し、統一感を持たせた。

なお、緑の特性には主に次のようなものがあり、金融系コーポレートカラーとして選ばれるケースも少なくない。

- ・活力・再生を促す
- ・刺激的な赤の補色であり、鎮静効果を發揮する
- ・伝統・信頼・安定感を醸し出す

## 2. フォント

一般的な携帯型印刷メディアのフォントサイズを参考に、日本の出版・印刷業界で広く使用されている「新ゴ」フォントを使用した。スマートで洗練されたイメージで、タテ・ヨコ組ともラインや黒みの揃った美しい組みを実現できるのが特徴<sup>9)</sup>である。

## 3. 判型・形態

制作費用や掲載できる情報量、携帯性の観点からA4判の三つ折りとした。判型および形態については、予算や掲載する情報量から、定型か不定型か、パンフレットか冊子体かななどを検討する必要があるだろう。

## 4. 紙質

一般的な携帯型印刷メディアで広く使用されているマットコート紙と上質紙を比較した結果、上質紙は文字が読みやすい反面、写真の解像度が下がり多少見にくくなるため、マットコート紙を使用することとした。なお、用紙が違うだけでも仕上がりの印象は驚くほど変わるため、紙質についても比較検討することは重要である。

## Ⅶ. 仕様

最終的な仕様は以下のように決定した。

- ・ 判型・形態/A4判三つ折り
- ・ 紙質/マットコート紙 (王子製紙ニューエイジ)
- ・ 厚さ/76.5kg
- ・ 費用/1,000部72,000円 (1部あたり72円)
- ・ 使用フォント/モリサワ新ゴ
- ・ 制作ソフト/Adobe Illustrator CS2
- ・ 入稿/完全データ入稿

### 図書館から最新の医学情報へ

東京歯科大学は、日本最初の歯科大学教育機関である山手区(東京都)に設置され、明治31(1900)年に創立されました。

図書館は、教室の一部を利用して学術蔵書および海外留学者による蔵書(学書など)を収集してまいりました。

現在は、手塚の森の森、市川総合病院隣に全通図書館分館の開設が完了しています。

現在は学術蔵書を整理し、東京歯科大学および歯科医学生に開かれた最新の学術的蔵書、貴重資料が保管されています。

さらに、本学(留学者)と歯科医学生とに開かれた最新の蔵書は、二つの階層階級の蔵書も同時に貴重資料として展示されています。毎年、10月1日の開館式で一般公開しています。

蔵書は約2万冊、医学・歯学・理学分野の専門資料が中心で、広く保健科学に関する教育・研究・診療活動を支援しています。



#### >> 開館時間

月曜日～金曜日 8:45～21:00 土曜日 8:45～17:00  
\*開館時間変更(臨時休館)の際は、図書館ホームページよりお知らせいたします。

#### >> 休館日

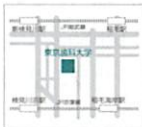
日曜日、第1土曜日、創立記念日(2月12日)、年末年始

#### >> 交通

- 市川毛塚から  
市川駅西口(有、有)1番乗降口  
船毛海神駅行き(歯科大駅直結)  
東京歯科大学(止まり)下車

- 市川毛塚海神から  
市川駅西口(有、有)4番乗降口  
船毛駅行き(歯科大駅直結)  
東京歯科大学(止まり)下車

※地下鉄の乗車は正門から入城し、正門の学書室または保健科棟5階学書室から乗り場まで徒歩10分程度です。



### 東京歯科大学図書館

Tel: 1-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2  
TEL: 043-270-3579(カウンター)  
FAX: 043-270-3578  
http://www.tbc.ac.jp/lib/



### TOKYO DENTAL COLLEGE

# LIBRARY GUIDE

東京歯科大学図書館利用案内

図1. 図書館利用案内(外側)

#### >> 入館

入館には学生証・教職員証、Library Cardのいずれが必要で、資料の貸出の際にも必要となりますので、図書館利用の際は必ず携帯してください。

#### >> 閲覧

閲覧室および1階図書室にある資料は自由に閲覧できます。第二図書室蔵書(歯学雑誌を除く1990年以前に出版された雑誌)の資料は別室にあります。利用は申し込みが必要です。

#### >> 貸出

本学学生、教職員、試験院職員、ピア等、発行出資料を郵送、館外に貸出することができます。

	対象資料	冊数	期間
学部学生・歯科衛生士校学生	図書	5冊	2週間
教職員・大学院生	教本雑誌	10冊	2週間
別室蔵書	図書	2冊	2週間

#### >> 返却

開館中カウンターへ、閉館時は図書室入口にある「図書返却ポスト」へ返却してください。返却期日と返却する資料を記入した返却カードを返却ボックスに投入し、返却期日過ぎるとメールで通知いたします。

#### >> 紛失・破損

借った資料を紛失・破損した場合は速急に連絡ください。借入資料を破損しまたは借出できなかった場合は、そのうちがかりがない限り、資料を返却してください。

#### 【 閲覧室の利用について 】

本学および歯科衛生士の卒業生であれば、卒業後も閲覧室の利用および図書室の資料が閲覧できます。また、卒業が難しい場合は、借入資料の送付や代行検索などのサービスも提供しています。

#### 【 学外館の利用について 】

図書館蔵書室でなければ、図書館を利用することができません。また、学外館蔵書の資料はすべて貸出専用で貸出を行っていただくことができません。本館蔵書の資料を利用することができます。

#### 図書館蔵書室

※身分証をご持参ください。  
歯科大学生・研究者・歯科医学生は閲覧室から紹介された資料をご持参ください。  
一般の方は閲覧室から資料をご持参ください。

#### >> 貸出期間の延長

返却期日より前に資料を借りていない場合、貸出期間内であれば延長することができます。また、返却期日が過ぎている場合、他の利用者から予約されている場合は、利用の多い資料については延長することができません。

#### >> 予約

利用したい資料が貸出中の場合は予約することができます。貸出が可能なになりましたら、電話またはメールにて連絡します。

#### >> 図書館で所蔵していない資料の利用について

所蔵していない資料は購入依頼をするか、他の図書館等を利用する方法があります。「購入希望図書申込」を利用希望する図書の購入を依頼することができます。

【文献復写依頼】(有料)  
他大学・他機関の図書館から、文庫のコピーを取り寄せることができます。また、図が所蔵がない場合は海外への手配もできます。

【図書相互貸借】(有料)  
他大学・他機関の図書館から館外で利用することができます。

【館外での発行】  
所蔵館での館外発行を希望する場合は紹介状を発行いたします。

貸出期間の延長、資料の予約、文献復写依頼など、各種サービスの申込は、図書館ホームページにて受け付けています。【購入希望図書申込】(文献復写依頼)については、図書館ホームページからお申し込みができます。貸出期間の延長については、貸出期間内であれば電話でも受け付けています。

#### >> 図書館ホームページ

蔵書や検索や図書室からのお知らせ、開館カレンダー、サービスの詳細については図書館ホームページで閲覧できます。また、ブログ、ニュース、オンラインジャーナル(学内利用限定のもの)もあります。最新の高学術情報にもアクセスできます。携帯サイトは、当日と翌日の開館時間を確認できます。

【PC】<http://www.tbc.ac.jp/lib/> 【携帯】<http://www.tbc.ac.jp/m/lib/>



大判プリンタ

学術書利用などに適した、B0判まで出力可能な大判プリンタを設置しています。利用には予約が必要です。予約状況は図書館ホームページで確認できます。



ネットワークプリンタ

学内専用LANネットワークから、図書館蔵書室に設置されているコピー機にプリントができます。詳しくは東京歯科大学情報システム管理事務局のホームページをご覧ください。



パソコンの利用

交野検索および閲覧用として使えるWindowsパソコンが揃っています。また、館内に無線LANのアクセスポイントを設置しています(学内でのみ利用可能です)。



コピー機

著作権法の適用範囲内で館内蔵書の資料を印刷できます。持ち込み資料は図書館立館前に設置されているコピー機をご利用ください。



LIBRARY EQUIPMENTS

図書館は学習・研究に活用できる各種機器が利用できます

図2. 図書館利用案内(内側)

## Ⅷ. まとめ

利用案内は、図書館の体質、サービスの内容、スタッフの考えすべてが凝縮された、図書館広報における重要なツールのひとつである。もちろん、インターネットが広く普及した現在においても、図書館Webサイトは利用案内の代わりにはなり得ない。

また、利用案内の制作は閲覧係やデザインの得意な個人に任せられがちな業務ではあるが、利用案内を充実したものにするには、図書館スタッフ全員が利用案内の重要性を理解し、全員が利用案内の制作にかかわらなければならない。そして、アピールしたいポイントやサービスを明確にすることが必要である。

そのためには、裏づけとなる充実したサービスを展開することが最も重要<sup>6)</sup>である。そして、費用対効果を意識<sup>7)</sup>し、図書館側の都合で制作した利用案内ではなく、利用者の立場に立った利用案内を制作しなければならない。

なお、利用案内を制作する際、他の図書館の利用案内を収集し比較することはあまり意味をなさない。基準となるものは他の図書館の利用案内ではなく、その図書館を利用する利用者である。もちろん、利用案内は各館によって目的や重点を置くポイントが異なるため、利用案内の理想モデルや雛形なども存在しない。

他の図書館の利用案内を収集し比較するのであれば、その労力を利用者へのサービス向上に費やし、そのサービスを利用案内へと反映させる努力に費やすべきである。

## Ⅸ. 今後の課題

従来の利用案内を改善する目的は達成できたが、図書館で提供するサービスをより充実させて、利用案内のシリーズ展開を充実させることは今後の課題である。

図書館を魅力あるものにアピールできるよう、利用者の立場に立った利用案内を制作していきたい。

本稿は2007年8月25～26日、活水女子大学で開催された第24回医学情報サービス研究大会長崎大会において発表した内容に加筆、起稿したものである。

- 1) 堀川照代, 海野敏, 長澤雅男他: 大学図書館における図書館利用案内の実態. 図書館学会年報. 1990 ; 36(1) : 9-21.
- 2) 仁上幸治. パンフレット・リーフレット. 日本図書館協会図書館利用教育委員会編. 図書館利用教育ハンドブック—大学図書館版. 東京: 日本図書館協会; 2003. p.72-6.
- 3) 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会. 利用案内. 図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開を目指して—. 東京: 日本図書館協会; 2002. p.140-2.
- 4) 伊藤京子, 梅澤庸浩, 松尾裕美子: 色の持つ力と個性が知りたい. Web Designing. 2003 ; 3(5) : 68-85.
- 5) 株式会社モリサワ. 書体見本新ゴファミリー. [引用2007-12-25].  
<http://www.morisawa.co.jp/font/fontlist/details/fontfamily007.html>
- 6) 小林かず子: "図書館案内"の作成. 薬学図書館. 1983 ; 28(4) : 263-6.
- 7) 永野浩二: 図書館PRとしての利用案内. 図書館雑誌. 1993 ; 87(10) : 729-31.